



2

ゆったり、まったり 「狭山池や博物館・郷土資料館を描こう」写生会

6月4日、狭山池で写生会が開催され、小学生以下の子どもたちが参加しました。

初めに、写生場所を見定めるため散策します。ポイントが決まると、水彩や色鉛筆、クレパスや油性ペンなど、それぞれお気に入りの道具を使って描いていきます。

指導員が写生している子どもたちを見つけては、アドバイス。子どもたちは、好きな姿勢でリラックスしながら、思い思いの風景を描くことに没頭していました。

完成した絵は、狭山池博物館で8月27日(日)まで飾られます。

1

ときを忘れる癒やしの光 ヒメボタル

5月下旬、西除川でヒメボタルの撮影をしました。

今年も一般の公開はしていませんが、「狭山ヒメボタルを守る会」の皆さんの協力のもと、広報誌に掲載しています。

ヒメボタルの雌は草木に止まり、雄は飛翔しながら発光します。今年は、気温が上がらず、天候にも恵まれなかった影響で観測数が少ないようです。その中でも光をともしながら暗闇を飛ぶ様子は、とても奇麗で幻想的でした。

毎年ヒメボタルが見られる環境づくりに感謝し、来年は一般公開されることを願います。



4

大野ぶどうはどうやってつくられる？ 南第一小学校～大野ぶどう農家の仕事を見学～

6月14日、南第一小学校の3年生が、コミュニティ・スクールの取り組みとして、大野ぶどう農家へ見学に行きました。市の特産品である「大野ぶどう」がどのようにしてつくられているか、実際に農園まで行き、農家から説明を受けました。初めてぶどう農園に入り、ぶどうがなる様子を見上げて目を輝かせる子も。子どもたちは、興味津々な表情で次々に手を挙げて質問をした後、学んだことをそれぞれまとめていました。

3

どんなふうにつくかな 北小学校～田植え～

6月13日、北小学校の5年生が田植えを体験しました。ほとんどの子どもにとって初めての田植え体験。冷たい田んぼの中に裸足で入ると、何とも言えない表情をする子も。地域の人の話を聞いて、一直線に並んで苗を一本一本、丁寧に楽しみながら植えていきました。今回、植えた品種は「にこまる」というお米で、粒が丸々していることが由来だとか。これから約5か月間、水の管理や害虫対策などを行い、秋にはまた自分たちで収穫します。

掲載したあなた家族の写真を差し上げます。希望する人は、市役所広報プロモーショングループ ☎ 366 00011へ連絡してください。